

第 52 回 放送番組審議会 議事録

令和 7 年 8 月 14 日 (木)
株式会社有明ねっこむ

■第 52 回 放送番組審議会

- 1.開催日時 令和 7 年 7 月 31 日(木)16 時 00 分～
- 2.開催場所 株式会社有明ねっとこむ 1階会議室
- 3.出席者 委員長: 石丸 智士
副委員長: 香山 真理子
委員: 大石 教義、松崎 義和、城戸 久信、黒木 雄平
(出席計 6 名)
放送局: 納富 和由紀(代表取締役社長)
永江 美穂 (FMたんと局長)
中原 敬介 (FMたんと副局長)
荒木 はるか (放送番組審議会事務局)
(出席計 4 名)
- 4.議題 審議番組: 7 月 26 日(土)放送「第 63 回大蛇山まつり生中継特別番組」
- 5.議事の内容
 - 「第 63 回大蛇山まつり生中継特別番組」放送局から概要を説明。
 - 【放送局】本日お聴きいただくのは、7 月 26 日(土)に放送した「第 63 回大蛇山まつり生中継特別番組」です。「大蛇山まつり」の会場からパーソナリティ中村アキヒロが中継で祭りの様子をお届けします。スタジオからは、パーソナリティ高村麻衣がお祭り関連のインフォメーションを放送していく形で進行します。今年も、臨場感のある放送をコンセプトに「大蛇山まつり」の会場の様子や、祭りの参加者や、来場者へのインタビュー、また事前に収録したお祭り関係者へのインタビューも含めて放送しました。それではお聴きください。
 - 実際の音源を聴き、各委員から審議番組に関する意見、それを受けて放送局からの発言があった。内容は以下の通り。
 - 【委員】パーソナリティの声が上ずるような聞こえづらいところや、バックのお囃子の音があまり聴こえないところがあった。これは機材の問題でしょうか。
 - 【放送局】使用する機材は昨年同様でしたが、会場の環境や人の多さ、使用していた機材と通信の特性などにより、スタジオへ

送られた音声への影響が出た部分もあるかもしれません。
改めて今後の課題としていきます。

- 【 委 員 】 お祭りの歴史や豆知識などといったものは放送の中で紹介されるのでしょうか。
- 【 放 送 局 】 事前に祭り関係者の方にインタビューした音源を放送で流したり、現場での様子と併せて解説を交えたりしています。
- 【 委 員 】 会場のお囃子の音を拾うのにマイクを固定したり、全体的に音声をとると臨場感が出たのでは。
- 【 放 送 局 】 以前試みたことがありましたが、レポートとの音量バランスなど調整が難しく、別の方法を模索しています。
- 【 委 員 】 お囃子が大きく鳴っている中での大声でレポートするような、お祭りならではの臨場感があまり伝わらなく感じました。
- 【 放 送 局 】 先ほどの音声部分含め、レポートの雰囲気、お囃子の音を大きくなど、臨場感を強く感じられる方法を考えていきます。

6. 次回の会議 令和7年9月(日時は未定)

7. 審議機関の答申又は意見の概要公表

自社ホームページに掲載(令和7年8月14日掲載)